

# コンシューマープロダクトにおける クラウド実践

IoT Technology Conference if-up 2019 (C3)

ソニー株式会社 AI&ロボティクスBG クラウドサービス開発部 藤原 直樹 氏

SORACOM プリンシパルエンジニア 松井 基勝 (moto)

2019/02/14

# 自己紹介

- 名前：松井 基勝 (moto)
- 所属：株式会社ソラコム  
プリンシパルエンジニア 兼  
デベロッパーアドボケイト
- 経歴：ゲーム開発→インフラエンジニア  
→クラウドエンジニア→IoTエンジニア
- 著書(共著)：



本日のハッシュタグ

# #ifup2019

トラックハッシュタグ

#ifup2019a

#ifup2019b

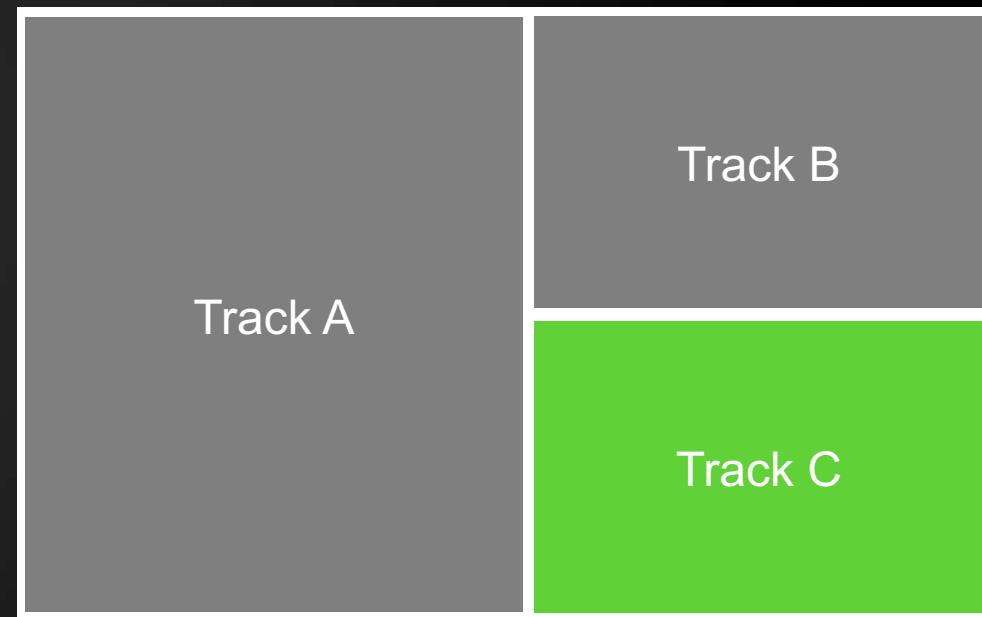
#ifup2019c



@SORACOM\_PR



<https://www.facebook.com/soracom.jp/>



# コンシューマープロダクトとクラウド

- 製品を世に送り出しておしまい、という時代ではなくなった
- ハードウェアはあくまでサービスの一部として開発
- 継続的な機能追加やセキュリティへの対応などが必須
- 必然的にクラウドと密に連携する製品が数多く開発・発売されるようになってきた



## スマホで撮った 子どもの写真・動画を 実家のテレビへ配信

お年寄りをターゲット。テレビにつ  
なぐだけ。難しい通信設定は不要で  
不具合時も電源の入れなおし。

# お客様事例:ソースネクスト様



POCKETALK



74以上の言語で双方向の  
コミュニケーションを  
実現、クラウド型通訳機

グローバル向け Air SIM  
eSIM内蔵で  
世界105カ国で使える

# SORACOMもコンシューマープロダクト “やってみた”



# SORACOM LTE-M Button powered by AWS



IoT Technology Conference powered by SORACOM  
if-up<sup>2019</sup>

## ハード/通信/クラウドの一体型プロダクト

2018年10月リリース



#あのボタン



“あのボタン”についての詳細は  
本セッション後の C4 セッションにて

# コンシューマープロダクトとクラウド

- 製品を世に送り出しておしまい、という時代ではなくなった
- ハードウェアはあくまでサービスの一部として開発
- 継続的な機能追加やセキュリティへの対応などが必須
- 必然的にクラウドと密に連携する製品が数多く開発・発売されるようになってきた
- 製品をクラウドに連携させるには乗り越えるべき課題がある
  - セキュリティやプライバシーに対する配慮
  - 開発のスピードを高める柔軟性
  - 運用を含めたビジネスの持続性



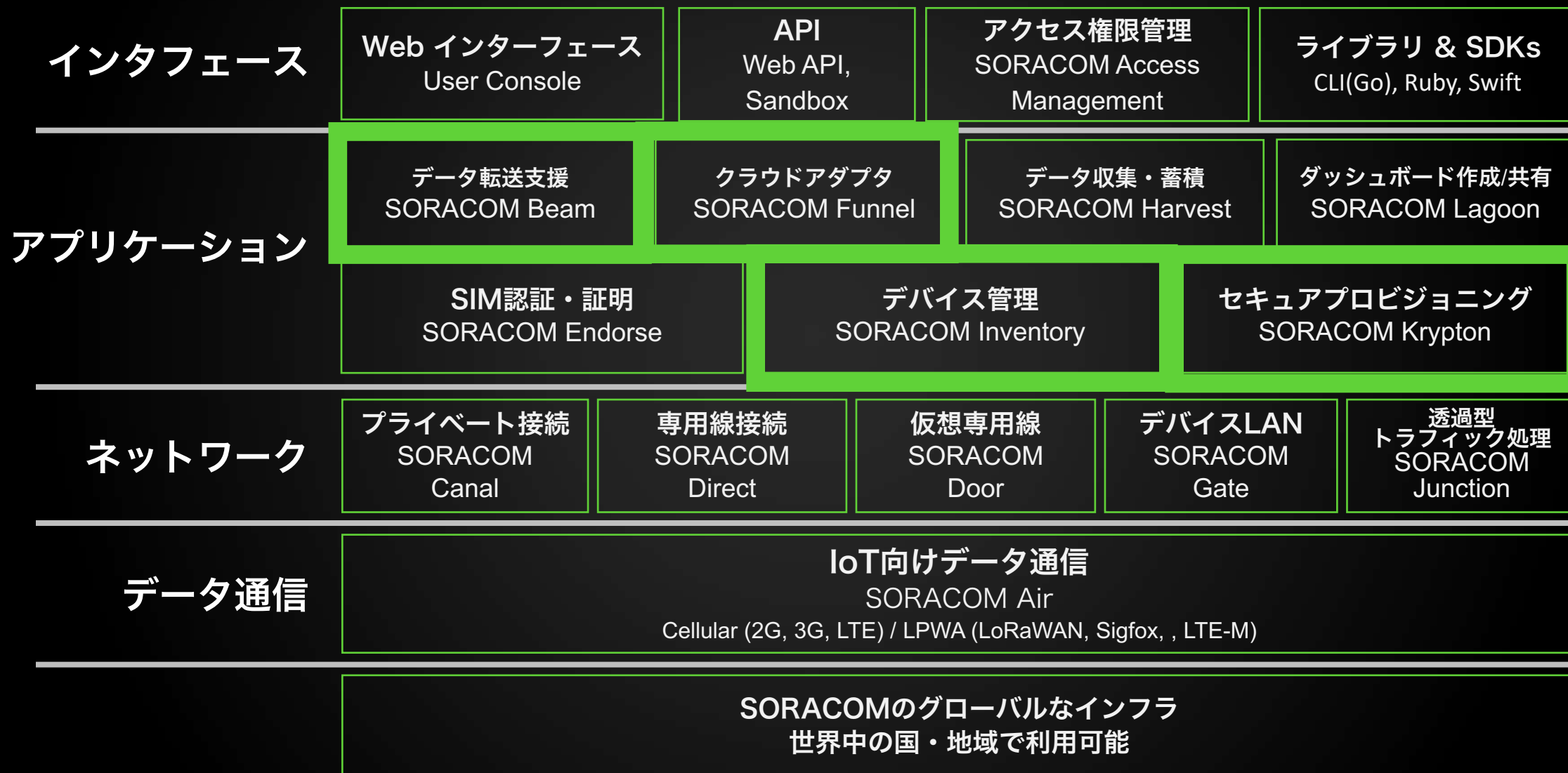
ソニー株式会社  
AI&ロボティクスBG クラウドサービス開発部  
藤原 直樹 氏

スライドURL(公開済み)

<https://www.slideshare.net/NaoakiFujiwara2/ifup2019aibo>

もしもあなたがコンシューマープロダクトを  
開発する事になったら…

# SORACOM プラットフォーム



# SORACOM プラットフォーム 公式ガイドブック

- 各サービスの詳細な解説や、リファレンスアーキテクチャ等をソラコムが徹底解説
- 日経BP社様から **3/21** 発売！  
(Kindle版もあります)





SORACOM

You Create, We Connect.